

平成26年度 美馬市立木屋平中学校「学力向上実行プラン」

1 学力向上検討委員会構成

学 力 向 上 検 討 委 員		
	職 名 ・ 校 務 等 担 当 名	
管理職	学校長 教頭	
学力向上推進員	教諭	
委員	助教諭	

2 学力・学習状況における現状分析，目標等

(1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得

児 童 生 徒 の 状 況			
よ さ	基礎的・基本的な課題に対しては正答率が高く、授業においても理解できていると実感できることが多い。	課 題	全校生徒が2名のため、理解の度合いや課題達成に要する時間に差が生じることもあり、授業の進行に工夫が必要。
	具体的目標(目指す子どもの姿)	成果指標	達成状況
	既得のものを含め、基礎的・基本的な知識・技能をいつでも活用できるように日々の復習を学校と家庭で継続して行うことができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> 朝学習プリントで70%以上正答できる。 家庭学習を毎日90分以上できる。 	評価
	具体的方策(教員の取組)	取組指標	取組状況
	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに確認テストを行う。 家庭での学習時間・内容を担任が点検する。 板書計画を立て、ノート指導を行う。 *中間期の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習については毎日、担任が点検する。 担任、教科担任によるノートの点検を月に1度行う。 	
達成状況を踏まえた改善事項			

(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況		
よ さ	応用・活用的な課題や発問に対して諦めずに考え、思考の過程や思いを言葉や文章で表現しようとする姿勢が養われている。また他者の意見を聞こうとする態度も備わっている。	課題 思考の過程を筋道建てて説明したり、それを文章で表現する力が育っておらず、解答にたどり着くまでに要する時間も長い。また自分なりの意見をもっているにもかかわらず自信をもって発表できていない。
具体的目標(目指す子どもの姿)	成果指標	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・ 正答、誤答にかかわらず、自分の考えを自信を持って文章で表現できる。 ・ 教員や他者の考えや意見に対して、自分の考えと比較して考え、述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業で必ず1回は文章による発表、他者の意見に対する考え(共通点や相違点)を述べるようになる。 	評価
具体的方策(教員の取組)	取組指標	取組状況
<ul style="list-style-type: none"> ・ A L Tと連携して英語による日記を書いたり、ワークシートを用いて表現力の向上を図る。 ・ 作業や体験ができる授業の増加、I C Tや副教材の積極的な活用を通じて表現力、思考力、判断力の向上を図る。 <p>* 中間期の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語による日記を週に1回書かせ、添削を行う。また日記を発表する場を設ける。 ・ 月1回、全教科でのI C T活用のため研修を行う。 ・ 月1回、副教材やワークシートの活用方法を職員間で協議する。 	
達成状況を踏まえた改善事項		

(3) 主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況			
よ さ	授業に真面目に取り組むことができ ており、宿題などの課題も概ね期日ま でに提出できている。授業の準備や移 動も前もって行うことができている。	課 題	与えられた課題に対しては主体的に取り 組んでいるが、自己の苦手分野を克服する ための手段（教員への質問や家庭学習での 工夫）は積極的に行えていない。
具体的目標(目指す子どもの姿)		成果指標	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・自己の苦手な分野を把握し、それを克服 するための手段を講じることができる。 ・進路を見据えた長期的・計画的な家庭学 習を行うことができる 		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身で毎週、家 庭学習計画を立て それを実行するこ とができる。 ・各テストにおいて具 体的な点数の目標 を立てることがで きる。 	評価
具体的方策(教員の取組)		取組指標	取組状況
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒個々の苦手な分野を把握し、より効 果的な学習方法を教授する。 ・家庭での学習の様子を把握し、進路に対 する啓発を早期に行っていく。 *中間期の見直し		<ul style="list-style-type: none"> ・月1回、個々の生徒 の学習状況につい て教員間で情報交 換を行う。 ・各教科で理解度を把 握するために授業 アンケートを年3回 行い、長期的な授業 計画、学習支援計画 を立てる。 	
達成状況を踏まえた改善事項			